

新人看護師に聞いた心に響いた看護

感謝の言葉から大切なことを学ぶ

高齢の患者さんを担当させていただいた時の経験が強く印象に残っています。その患者さんは骨折され、全介助が必要でした。認知症もあり、こちらの問い合わせに対してあまり反応はありませんでした。しかしある日、食事介助をさせていただいた時に、穏やかな表情で「おいしいね、ありがとう」と言葉をかけてくださいました。

嬉しさがこみ上げてくると同時に、私たちが普段何気なく行っている“食べる”という行為が、患者さんにとってどれほど大きな意味を持つのかを実感しました。そして、患者さんが安全・安楽に食事をとることができるように工夫する大切さを学びました。私にとって患者さんの変化や言葉が、仕事のやりがいにつながった瞬間でした。

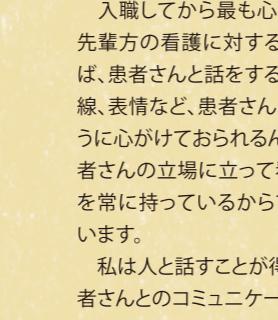


5A病棟
2018年 入職
佛教大学 卒業

安岡 多英

「患者さんのために」という想いが届く

ターミナルの患者さんの検温をしていた時、突然患者さんが涙を流し、「普段は泣くことはないけれど、あなたの優しさにふれて涙があふれてきたの。笑顔を見ると、痛みやつらさが和らぐわ」とおっしゃいました。つらい時も我慢される方だったので、自分なりに話しやすい雰囲気をつくろうと努めていたのですが、まだ自分では力になれないかなと思いはじめていた時だったので、嬉しかったですね。そして、経験が浅くても患者さんのことを考えて看護をすれば支えになれるんだと、勇気をもらいました。これからも学習を重ねて知識や技術をしっかりと身につけ、患者さんの心に寄り添う看護を行えるようになりたいと思います。



6D病棟
2018年 入職
京都橘大学 卒業

小室 真子

先輩の看護に心を打たれる

入職してから最も心に響いたのは、先輩方の看護に対する姿勢です。例えば、患者さんと話をする時は、姿勢や目線、表情など、患者さんが安心できるように心がけておられるんです。それは患者さんの立場に立って看護を行う意識を常に持っているからできるのだと思います。

私は人と話すことが得意ではなく、患者さんとのコミュニケーションも消極的になってしまることがありました。でも、課題をそのままにしておいては心に響く看護をとどけることはできないと思い、今はペアを組む先輩の関わり方を参考にしながら、積極的に患者さんと関わるように心がけています。意識を変えられたのは、尊敬する先輩方がいてくださったおかげです。



7D病棟
2018年 入職
京都看護大学 卒業

清水 柚紀

京都市立病院

看護職員募集案内

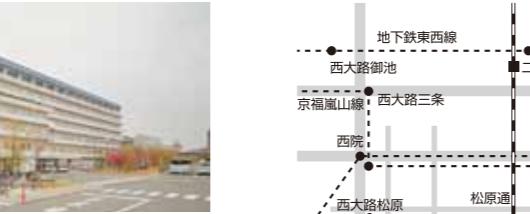
心に響く 看護を とどけたい



kyoto City Hospital

〒604-8845 京都府京都市中京区壬生東高田町1-2
TEL:075-311-5311(代) FAX:075-321-6025(代)

<https://www.kch-org.jp/>



地下鉄烏丸線「五条駅」からバスに乗り換える

- 市バス73、75号系統「市立病院前」下車すぐ
- 京阪京都交通バス21、21A、27号系統「市立病院前」下車すぐ
- 京都バス81、83系統「市立病院前」下車すぐ

JR嵯峨野線「丹波口駅」から徒歩

西へ10分

阪急電鉄／京福電鉄「西院駅」から徒歩 南へ15分

地下鉄烏丸線「五条駅」からバスに乗り換える

- 市バス43、73、80号系統「市立病院前」下車すぐ

地下鉄東西線「西大路御池駅」からバスに乗り換える

- 市バス202、205号系統「西大路松原」または「西大路五条」下車徒歩3分
- 市バス75号系統「市立病院前」下車すぐ



心に響く 看護をとどけたい

当院の看護は～心に響く看護～がテーマです。
「響く」には「広がり伝わる」「反響する」「余韻が長く続く」「
心に通じる」といった意味があります。
この心に響く看護は
「看護」が一方向ではないことをあらわしています。
看護師と患者さん、そのご家族と、双方向に響き合い、
一人ひとりの患者さんの価値「そのひとらしさ」を大切にした
看護を提供していきたいという願いが込められています。

関連施設

京都市立京北病院

京都市右京区京北下中町鳥谷3番地 TEL 075-854-0221 FAX 075-854-0825 <https://www.kch-org.jp/keihoku/>

京都市立病院機構理念

京都市立病院機構は

- 市民のいのちと健康を守ります
- 患者中心の最適な医療を提供します
- 地域と一緒にとなって健康長寿のまちづくりに貢献します

京都市立病院の特色

京都市立病院機構理念を念頭に、質の高い医療サービスを提供し、市民のいのちと健康を守る自治体病院としての責任を全うしてまいります。

- 地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 災害拠点病院(地域災害医療センター)
- 第二種感染症指定医療機関
- エイズ治療拠点病院
- 7対1看護基準
- 救急告示病院
- 臓器提供施設
- 骨髄採取・骨髄移植認定施設
- 日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:ver.1.0)
- 地域周産期母子医療センター(2次周産期医療)

概要

名 称 京都市立病院

開設年月日 昭和40年12月1日

病 床 数 548床(第二種感染症用を含む)

建 物 面 積 50,582m²

診 療 科 目 内科、呼吸器内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内

科、腎臓内科、神経内科、血液内科、内分泌内科、糖

尿病代謝内科、アレルギー科、感染症内科、精神神

経科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、小児外

科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリ

テーション科、リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿

器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、

放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検

査科、麻酔科、救急科、緩和ケア内科

看護部理念

- 患者の権利を尊重し、安心できる心のこもった看護を提供します。
- 専門職として科学的で創造的な看護を目指します。
- 医師および他部門との信頼関係をもって協働します。

教育方針

看護を必要とする全ての場面で
適切な判断根拠に基づき看護実践能力を発揮できる看護職員を育成します

看護部長挨拶

看護部長
半場 江利子



“響き合う”看護で更に
その人らしさを大切にする

看護部方針

1. 患者の権利・尊厳を重視する看護を実践する
2. 科学的根拠に基づいた有効で適切な看護を実践する
3. 安全性を重視し予測を持った看護を実践する
4. 公平で効果的、効率的な看護を実践する
5. 多職種と連携し専門性豊かな看護を実践する
6. 看護職一人ひとりの成長を支援する教育を行う

質の高い看護を実践する

- ムと共に支援しました。その結果、家族の理解もいただき、患者さんは
願い通り、自宅へ戻すことができました。そこには「尊厳をもってそのひ
どらしい生活を全うできるよう支援する」その信念と患者さんの力を支
える看護の力「アセスメント力」、「実践力(技術)」、「コミュニケーション
力」、チームで行う為の「マネジメント力」が“その人らしい暮らしを支え
ることを可能にしたと感じています。
- 我々は急激に状態が変化する急性期患者さんの大切ないちに向
き合い、くらしの場へ早期に戻るための看護を提供することが使命と感
じています。看護師は多職種チームの中で唯一24時間という時間軸で
患者さんを支えています。24時間は「生活=くらし」そのもののサイクル
です。その中で看護師は患者さんの「生きる力」「つみ重ねる力」「受けと
める力」「持ちつづける力」など様々な力を見つめ、引き出し、支えてい
ます。
- ある中堅看護師が、自宅復帰は難しい、転院だろうと誰もが思う患者
さんを受け持ちはりました。その看護師は患者さんがおっしゃった「家に帰
りたい」のことばを大切に捉え、患者さんの些細な動作を見逃さず、で
きる力を引き出し、人が暮らしの中で一番自立したい排泄行動をチー
ムで実践してみませんか。

地域に響く 看護をとどけたい

「病院完結の医療」から「地域完結の医療」へ。

時代のニーズに応えるためには

ひとつの病院だけでなく、

地域全体で医療の質向上を図ることが大切です。

私たち看護師は

地域連携、多職種連携における

キーパーソンとしての役割を担っています。



入退院支援

患者さんとご家族に安心して入院生活を送っていただき、QOLの向上につなげるために、外来(患者支援センター)・病棟・地域医療連携室などが連携する入退院支援を実施しています。

安心して入院生活を 送っていただくための支援を

外来(患者支援センター)(2004年入職) 津田 磨美

患者さんが安心して入院生活を送れるように、治療計画を説明して入院生活のイメージを持ってもらえるようにしています。その際は、患者さんに分かりやすい言葉でクリニカルパスを説明しながら、患者さんやご家族が知りたい情報を伝えるように心がけています。そして、患者さんからヒアリングした情報を病棟と共有して、効果的な看護につなげています。入院時から退院後の生活を見据え、さまざまな部署と連携して支援することも重要な役割です。多職種とチームで取り組むことが多く、意見を出し合い、患者さんのQOL向上に役立った時がいちばん嬉しいです。



患者さんの視点を大切にし、 共に通じ合う看護を実践

7D病棟(2012年入職) 吉田 真奈里

患者支援センターが収集した患者さんの情報などをもとに個別性の高い看護を展開すると共に、退院に向けた支援も行っています。退院支援はスムーズに退院していただくことを意味するのではなく、より良い療養生活を送っていただくことを目的としており、現在は「在宅療養支援」といわれています。院内の医師、リハビリ部門や地域医療連携室のスタッフ、あるいは地域のケアマネージャーの方々と連携し、住み慣れた場所でその人らしく生活ができるようにサポートすることが私たちの使命であり、やりがいとなります。患者さんの視点を大切にした、共に通じ合える看護を行いたいと考えています。

看護専門外来

看護師だから患者さんやご家族の力になれることはたくさんあります。当院は看護師が主体となって行う看護専門外来を積極的に展開。専門的なスキルを活用し、安心して療養生活を過ごしていただくための支援を行っています。



患者の想いや暮らしに寄り添い、 一緒に療養生活と向き合う

フットケア外来／糖尿病看護認定看護師(2016年入職) 山内 光子

フットケア外来では糖尿病の患者さんに対して、糖尿病合併症のひとつである糖尿病足病変の予防を目的に、フットケアに関する研修を受けた看護師がケアと指導を行っています。

糖尿病の悪化や合併症を防ぐためには、患者さん自身が生活習慣を整え、正しいセルフケアを行うことが重要です。しかし、長年の習慣をかえるのはむずかしく、一方的に指導するだけでは継続しにくいのが実情。患者さんの性格や生活スタイル、気持ちをくみ取り、一緒に療養生活と向き合う姿勢が大切です。こうした関わりのなかで、糖尿病看護認定看護師として身につけている知識や技術を活用できればと考えています。また患者さんは、看護師だから言えることもたくさんあるので、看護専門外来を通して得た情報を他部門・多職種と共有し、より良い治療とケアにつなげていきたいです。

チーム医療

医療が高度化し、患者さんのニーズも多様化するなか、質の高い医療を提供するためには、多職種が連携し、それぞれの専門性を発揮するチーム医療が不可欠です。多様なチームが職種・部門の壁を越えて活動しています。



専門的な視点から意見を出し合い、 患者さんにとってより良い医療を提供

疼痛管理チーム(1992年入職) 堤 佳代子

当院は周術期管理に重点を置いた早期回復を目指しており、疼痛管理チームによる疼痛の評価や疼痛管理も、その取り組みのひとつです。チームは、麻酔科医師・手術センター看護師・病棟看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床心理士などで構成され、組織横断的に活動しています。

具体的には、病棟に行きチームでカンファレンスを行ったあと、直接対象となる患者さんの状態を確認した上で、鎮痛剤投与の調整などを行います。6C病棟(消化器外科)では2018年7月から介入を開始して、術後1日目の歩行割合が86%(前年度61%)になった他、患者さんからも「疼痛の変化で回復を実感できる」といった意見をいただきながら、成果を挙げています。患者さんにいちばん近い医療者として細やかなアプローチを行い、患者さんにとって最適な治療やケアを提供したいと考えています。

人に響く 看護をとどけたい

専門性の高い自律した看護師を育成することが看護部の教育方針。そのため根拠に基づいた技術やコミュニケーション能力を身につけ、看護の実践力を高めます。そして一人ひとりの目標に向かってキャリアアップできることが大きな特長です。

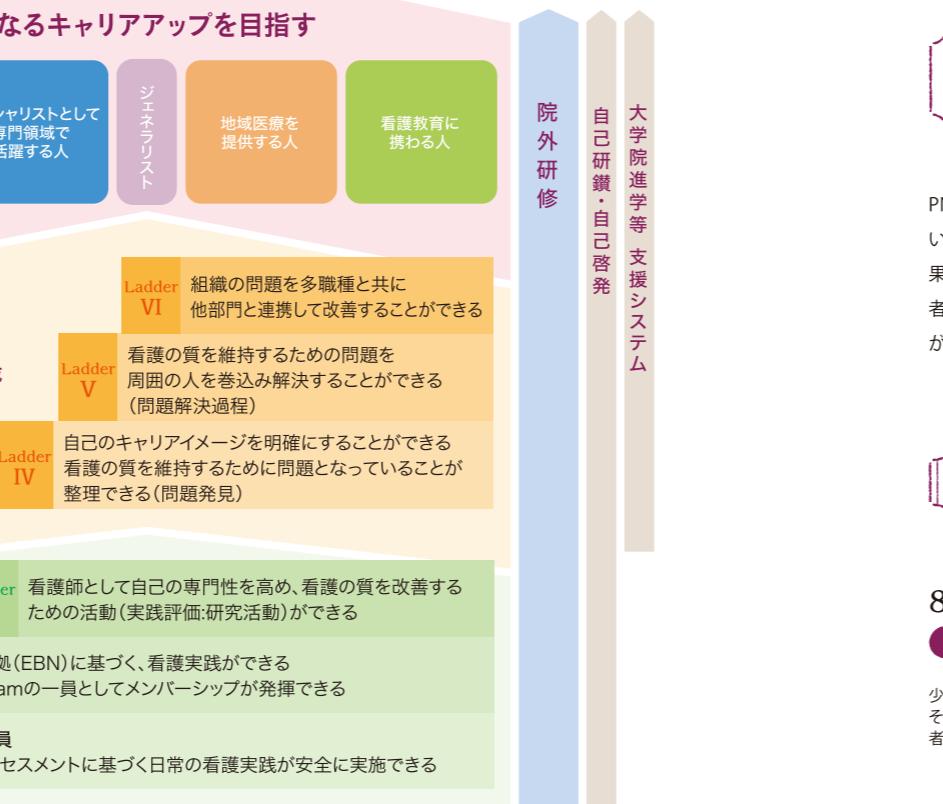
新人看護師の一年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2年目看護師
<ul style="list-style-type: none">新規採用オリエンテーション(全職種合同)看護記録研修電子カルテシステム研修診察補助技術とフィジカルアセスメント採血・点滴準備・翼状針など静脈注射に関する技術輸液とフィジカルアセスメント(循環)呼吸管理技術とフィジカルアセスメント吸引・酸素吸入技術輸液管理・ME機器(シリンジポンプ・輸液ポンプ)輸液とフィジカルアセスメント(抗生素・薬剤代謝)	<ul style="list-style-type: none">日常生活援助とフィジカルアセスメント(移動技術・清潔ケア技術)日常生活援助とフィジカルアセスメント(排泄ケア技術・食事ケア技術)ケアスケジュール・タイムスケジュール	<ul style="list-style-type: none">夜勤前多重課題研修BLS研修	<ul style="list-style-type: none">BLS研修	<ul style="list-style-type: none">半期振り返り・リフレッシュ研修	<ul style="list-style-type: none">フォローアップ研修(全職種合同)	<ul style="list-style-type: none">機構の役割について理解する(施設認定、入院診療計画書、DPCなど)	<ul style="list-style-type: none">部署の先輩と事例検討を通して看護についてディスカッション2年目研修発表会に参加(エビデンスのある看護の実践)	<ul style="list-style-type: none">一年の振り返り				新人教育を振り返ると、看護の基礎を学ぶ集合研修と、病棟特有の知識や技術を学ぶOJTがうまくリンクしていたと思います。医師やスペシャリストの方々が講師を務め、教科書には載っていない実践的な技術をきめ細かく教えてくださることも大きな特長です。1年目はおぼえることが多くて大変な時ですが、身につけた技術を患者さんに提供できやりがいを感じる時です。すべての経験が成長につながると、2年目になって実感しています。

京都市立病院看護部 キャリアラダー

看護を必要とする全ての場面で適切な判断根拠に基づき、看護実践能力を發揮できる看護職員を育成することを教育方針として掲げています。その教育方針に基づき、「京都市立病院看護部キャリアラダー」を基盤とした看護専門職としての役割を発揮するために、全看護職員が自らの目標に向かって主体的に学習していくために支援する教育体制を整えています。

「京都市立病院看護部キャリアラダー」は6段階、ラダーⅠ～Ⅲは臨床実践者としての能力の育成(対象:卒後1年～卒後5年)、ラダーⅣ～Ⅵは看護の質を組織的に高めることができる能力の育成(対象:ラダーⅢ修了者)を目指しています。



看護体制

PNS パートナーシップ・ナーシング・システム

当院は安全で質の高い看護を提供することを目的に、PNS(パートナーシップ・ナーシング・システム)を採用しています。ペアを組む看護師は1年を通じて協力し合い、成果と責任を共有。新人看護師は、経験豊かな先輩から患者さんとの関わりや状況判断など、多くのことを学ぶことができます。

心を通わせ育ち合う

先輩看護師

4A病棟(2003年入職) 大久保 智加

PNSは2人でペアを組むので、新人さんは分からぬことがあった時はすぐ先輩に確認できるなど、安心して看護に取り組めることが大きな特長です。そして先輩の看護を間近で見て学ぶこともできます。新人さんとの関わりでは、看護の根拠を理解できる指導を心がけています。一方的に指導する関係ではなく、私たちも新人さんから多くのことを学んでいます。



新人看護師

4A病棟(2018年入職) 小山 奈津

小児科ではまだ自分の気持ちをうまく伝えられない子どもや、ご家族としっかりコミュニケーションを取り、個別性のある看護を行うことが大切です。しかし経験が浅く、どのような言葉をかけて良いのか分からない時もあります。そんな場合はペアを組む先輩の関わり方を見ることが勉強になります。看護の根拠を説明しながらアドバイスしてくださるので心強いです。

12:00 休憩

14:00 検査、カンファレンス



午前にできなかったケアや検査の介助など。病棟内のカンファレンスでは、多職種が集まって意見交換を行っています。

準夜帯の看護師へ申し送り。先輩と一緒に重要な情報を分かりやすく伝えるように努めています。

新人看護師の一日

8:00 出勤

少し早めに勤務して、その日に受け持つ患者さんの情報収集。

病棟全体で、検査や手術を受ける患者さんの情報を共有。その後、ペアを組む先輩と患者さんの状態やスケジュールを確認。

8:30 朝礼、情報共有

病室をまわり、バイタルサインのチェック。新たに入院された患者さんは普段の生活環境や疑問点などをヒアリング。

10:00 ケア

清潔ケアや検査・処置の介助の合間に患者さんとコミュニケーションを取り、信頼関係を築くことも大切です。

12:00 ラウンド

先輩と患者さんの情報を再度共有してから、前半後半に分かれて休憩をとります。がんばってお弁当を作っていますが、コンビニの力を借りることも。

14:00 申し送り

准夜帯の看護師へ申し送り。先輩と一緒に重要な情報を分かりやすく伝えるように努めています。

16:00 申し送り

准夜帯の看護師へ申し送り。先輩と一緒に重要な情報を分かりやすく伝えるように努めています。

2年目看護師

新人教育を振り返ると、看護の基礎を学ぶ集合研修と、病棟特有の知識や技術を学ぶOJTがうまくリンクしていたと思います。医師やスペシャリストの方々が講師を務め、教科書には載っていない実践的な技術をきめ細かく教えてくださることも大きな特長です。1年目はおぼえることが多くて大変な時ですが、身につけた技術を患者さんに提供できやりがいを感じる時です。すべての経験が成長につながると、2年目になって実感しています。

6C病棟(2017年入職) 堀打 学

